

令和2年6月30日

会員各位

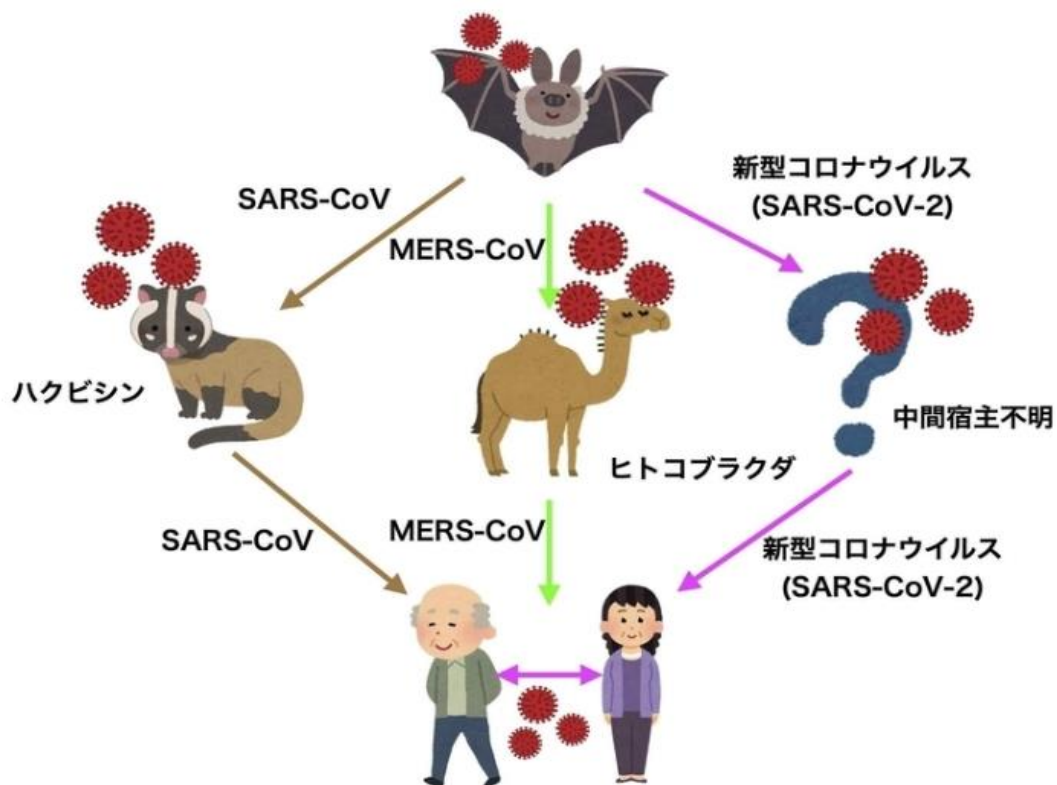
公益社団法人奈良県柔道整復師会  
会長 川口 貴弘

「ペットを飼っておられる場合の心得」 (情報提供)

前略失礼いたします。  
お一人で過ごしておられる方が新型コロナウイルス感染によって入院加療が必要となった場合、飼っておられるペットのお世話を担ってくれる方がいないと聞きます。理由は、そのペットからの感染を恐れていることだそうです。私たちが一般に飼うペットに関する危険性は、今のところ問われていません。現状におけるペットに関するご理解をいただけるよう情報提供いたします。以下ご一読ください。

草々

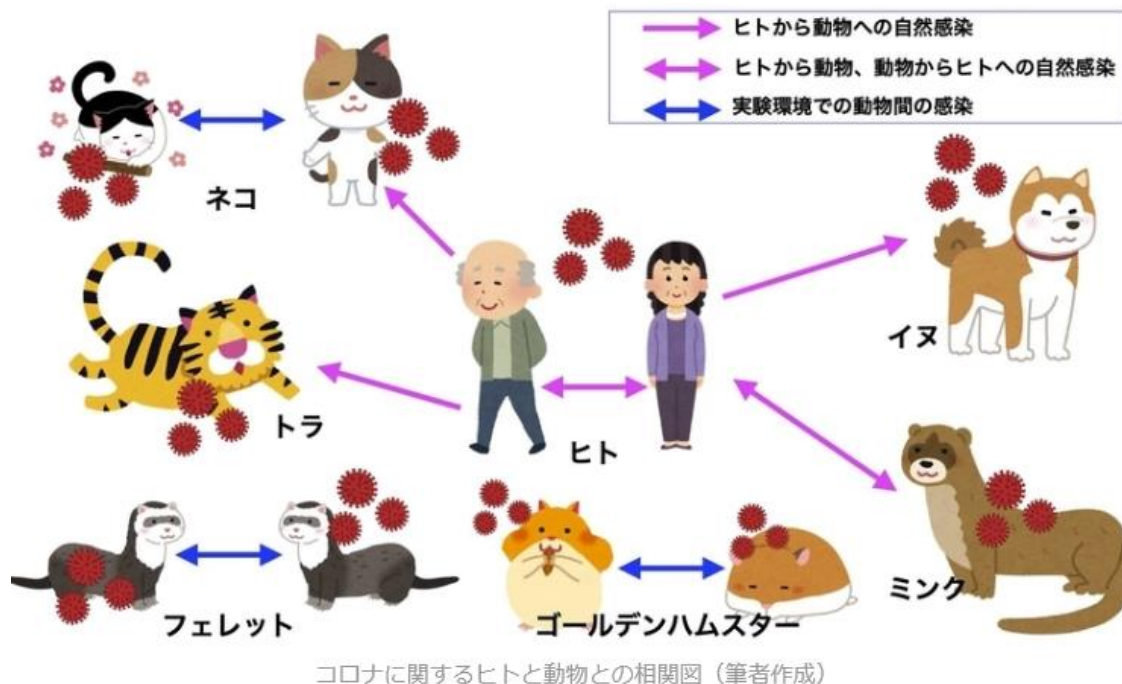
SARS(重症呼吸器症候群)と MERS(中東呼吸器症候群)、新型コロナと動物



SARS、MERS、新型コロナウイルスの宿主とヒト (筆者作成)

SARS コロナウイルス、MERS コロナウイルスはいずれもコウモリが自然宿主と考えられています。新型コロナウイルスも、遺伝子配列がコウモリの持つコロナウイルスに近いことから、自然宿主はコウモリではないかと推測されています。SARS コロナウイルスはハクビシン、MERS コロナウイルスはヒトコブラクダが中間宿主と考えられていますが、新型コロナウイルスについては中間宿主が何なのか、或いは存在するのかはまだ分かっていません。

現時点で分かっていること、注意すべきこと



新型コロナウイルスの動物への感染は自然環境、実験環境のそれぞれで確認されています。自然環境ではありませんが、イヌ、ネコ、フェレット、ブタ、ニワトリ、アヒルの鼻腔に新型コロナウイルスを接種した実験では、ネコとフェレットで感染が成立したとのこと。この実験ではイヌにおけるウイルス増殖は不十分であり、イヌはネコよりも感受性が低い可能性が示唆されています。

まとめると

- ・ミンクからヒトに感染した事例が報告されているが、ペットや家畜からヒトへの感染は極めて稀であり、ヒトでの感染例のほとんどはヒトからヒトへの感染によって起きている。
- ・稀にヒトからペット (イヌ、ネコ) に感染が起こり得る。イヌやネコに感染した場合、無症状か軽症のことが多いようである。
- ・ネコやフェレットなど同種間で感染が成立する動物もいるようである。
- ・ネコやイヌからヒトに感染するかどうかは不明である。

となります。

まだ十分な情報が足りていない状況であり、今の時点で過剰にペットからの感染を恐れる必要はないでしょう。